

- 共通事業所の集計値の特性
 - ・ 当月と1年前（後）との両方に回答している事業所に限定。(P2)
 - ・ 母集団労働者数への復元ウェイトは、便宜的に本系列と同じ。(P2)
 - ・ サンプル数が本系列に比べて4割程度、事業所規模・産業に偏りがある。(P5)
 - ・ サンプルに一定のバイアスがある可能性。(P8～12)
- 指数化に係る課題
 - ・ 比較対象が前年か翌年かで事業所群が変わるため、同年同月に2つの賃金額が存在する。(P3)
 - ・ 各月で事業所群が異なる。(本系列における回答事業所の変化との相違) (P13)
 - ・ ベンチマーク更新の影響を除去していることの、時系列比較上の意味。(P2)
 - ・ データの蓄積が少ない。(ローテーション・サンプリングの平準化は2020年1月から) (P7)
- 実質化に係る課題
 - ・ 共通事業所の前年同月比という指標の実質化の意味。
 - ・ デフレーターをどのように考えるか。